



“第22回のぎくまつり”ご協力ありがとうございました！

第22回のぎくまつり（2月25日【日】）には、村内外よりたくさんの方々に参加ご協力いただき本当にありがとうございました。

今回は、熊本地震からの「復興に向けて心をひとつに、がんばるばい西原村！」をテーマに、式典・各種表彰・体験発表・ミニ講演・演芸大会等の内容で開催しましたが、例年以上の多種多様なボランティアさんの協力により盛会に開催することができました。

各種表彰については地域活性化のため各集落より推薦をいただき、また、演芸大会では子どもたちや高齢者の方々とふれあい共演など一人ひとりが主役の心温まる楽しい一日になりました。

※詳しくは別紙「のぎく荘だより NO.51号」をご覧ください。

第22回のぎくまつりにおいて、下記の各団体・グループの皆様より、売り上げ益金のご寄付をいただきました。

だご汁売り上げ	28,900円	かわはらんおやじの会	3,950円
商工会青年部	10,100円	人参売り上げ	3,000円
甘酒募金	3,336円	託麻ワークセンター	3,000円
もちつきグループ	37,800円		



温かいご協力ありがとうございました。

ご利用ください！ のぎくふれあい相談センター 〔4月～6月・開催日のお知らせ〕

相談日については、月初めに開催日と相談内容を防災無線でお知らせします。

詳細については、平成30年度予定表（各戸配布チラシ）又は社会福祉協会にお問い合わせください。

電話相談も 受け付けます

相談専用 279-4140
FAX 279-4388
電話 279-4141

個々の障がいや情報が伝わりにくい方もあり、村の防災無線を通じて利用される方が多数です。ご理解をよろしくお願いします。

相談時間 午前9時～12時まで

相談種別	4月	5月	6月
法律相談（予約制）	4日（水）	9日（水）	6日（水）
行政相談	12日（木）		14日（木）
人権相談		17日（木）	
不動産相談	17日（火）		
障がい者相談			21日（木）
心配ごと相談	26日（木）	24日（木）	28日（木）
介護・一般相談	月曜日～土曜日〔午前8時30分～午後5時まで〕		

お 礼

香典返し 次の方々より故人のご供養のため社会福祉協議会に多額のご寄付をいただきました。故人のご冥福をお祈りしますと共に心からお悔やみ申し上げます。

（敬称略）

嘱託名	故人氏名	遺族氏名
宮 山	東 トシエ	東 敏寛
河 原	緒方シズ子	緒方 洋一
小森西	草野ナツコ	草野 孝則
小森西	丸塚 良一	吉井 修身
宮 山	坂本ツユ子	坂本 友廣
鳥 子	新川ハツメ	新川 俊幸

一般寄付・ニコニコ

次の方々より福祉事業に役立てて下さいとご寄付をいただきました。

（敬称略）

嘱託名	氏 名	備 考
小森東	高橋 正信	一般寄付

この尊い浄財は、ご寄附いただきました各位の趣意に添うべく、社会福祉のために有効に使用させていただきます。ありがとうございました。尚、個人情報保護の観点から個人寄付金額の公表は控えていただきます。〔3月15日受付け分まで掲載〕

ふれあいいきいきサロン活動報告

宮山サロン



「出来る方は協力してくださ〜い」の役員さんの声掛けに多くの方が参加され子どもサロンが開催されました。一緒にカレーを作り・ゲームを楽しみ、子どもの成長を地域で見守りました。

日向サロン



いく種類ものゲームが準備されたものの、初めて使うものばかり。

でも思わず「うま〜い」と拍手をするほど！「ニヤっと」微笑む顔が印象的でした。

畑サロン



いつでも出来るようにとコミュニケーション麻雀を購入され活用されています。初おろしでもあり多少戸惑いながらもゲームを楽しむ事ができ、男性の積極的な参加を期待されていました。

上鳥子サロン



「お雛様」のこの日、男性は地域のゴミ拾い。帰ってきたら女性の手作り料理が所狭しと並べられお腹を満たしました。この後は皆でカラオケボックスへ移動「1曲は歌うばい」と意欲満々でした。

桑鶴サロン



3月のサロンでは、参加人数がいつもより少なかったのですが、集まれる人だけでも集まって今回もいろんな話で盛り上がりしました。

名ヶ迫サロン



サロンの始まりは、長年続けている「やまびこ体操」から！！手や足をビデオを見ながらしっかりと運動された後は、昼食会を楽しめました。

各地で役員引継ぎ会議開催される

谷地区（門出・田中・秋田・士林）



福祉協力員さんの会議が谷地区で開催され民生委員さんにも出席頂きました。

さまざまな意見が出される中「地域の異変に気付く」「気づいたら繋ぐ」この思いを持って地域活動への協力体制が話し合われました。

宮山地区



役員の交代により意思統一を図るための引継ぎ会議が行われました。

サロンの開催を積極的に行う事やネットワークの見守り体制の強化等が意欲的に行われました。